

## 2023年度 第2回 バーチャル原子力施設見学会

- 実施日：令和6年3月7日（木）
- 見学場所：ITER 機構 ITER 建設現場  
（フランス サン・ポール・レ・デュランス）
- 開催形式：Zoom
- 参加者数：44名（学生11名、社会人33名）

### 見学内容

#### ITER 機構 ITER 建設現場

- ・地球上最大の国際プロジェクト核融合マシン建設の現場

### 参加者コメント（抜粋）

#### **【学生】**

- ・核融合炉の簡単な仕組みなどは知っていたが、建設地や装置の写真をしっかりと見たことがなかったので、写真を見ながら解説してもらえる機会はとても貴重なもので良い点だと感じた。
- ・なかなか見ることのできない、建設中の施設の内部をじっくりと見ることができた。
- ・インターネットで調べるだけではなかなか手に入りにくい情報を解説付きで知ることができた。
- ・建設現場がフランスであり、直接見学する機会を得ることが困難なITERの内部を断片的にはなってしまうが知ることが出来た。

#### **【社会人】**

- ・現在のプラント全体の状況が理解できた。
- ・ITERの現状が知れた。
- ・ITERの現状と、そこで働く日本人の生活を知ることができたこと。
- ・ITERの規模感が分かった。
- ・敷地規模が理解できた。
- ・映像から大きさ、規模を感じられた。
- ・説明が詳細で現場の雰囲気がよくわかりました。
- ・百聞は一見に如かず。
- ・やはり現物を目にできることは素晴らしいと思いました。それと、適切な説明が入ることと、テクテク歩いて移動することなく、何処へでも自由に出入りができるバーチャルの技術を堪能できたと思います。
- ・単なる写真紹介ではなく、VRであり、位置関係、大きさなどつかみ易く、臨場感があってよかった。
- ・施設の内部を見ながら、大前さんの解説を聞いた点。
- ・施設建設の進捗状況について大まかに知ることができたこと。
- ・施設全体のイメージを掴むことができた。また、ご説明もとってもわかりやすかった。
- ・VR映像に対しての説明が豊富だった
- ・稼働がまだまだ先であることが理解できた。